

RWF PPF【エアフリータイプ】施工のおすすめ方法について

本製品を美しく仕上げるために、下記の施工方法を推奨しております。

■ 広い面積の施工

低発泡タイプのスリップ液を使ったクリーンウォーター施工がおすすめです。これにより、気泡の混入を抑え、滑らかな仕上がりを実現できます。

■ 細かいパーツや複雑な曲面

ドアミラーやバンパーなどにはドライ施工を選択的に使用することで、より高い精度とコントロールが可能です。

エアリリース構造を採用しており、ウェット施工・ドライ施工のどちらにも対応しています。

設計上、効率的な施工と、継ぎ目の目立たないプロフェッショナルな仕上がりが実現できます。

※注意事項

フチの仕上げや角のラッピングには、ドライ施工（乾いた状態）を強く推奨します。乾いた状態で施工することで、しっかりとした密着性が得られ、時間の経過による浮き上がりのリスクを軽減できます。

なお、このグロス系 PPF は、マット PPF のドライ施工タイプとは若干異なる特性を持っております。

ウェット&ドライを組み合わせた施工方法が、エアリリース構造を採用したグロス PPF に最も適した方法です。